



## 自分づくり教育とは

「将来の夢は？」「大人になったらどんな仕事に就きたいか」

こう聞かれて、すぐに明確な回答が出来る子は少ないかも知れません。低学年のうち、あくまでも夢やあこがれとして答えられた子どもたちも、だんだん精神年齢が上がり現実味を伴ってくると、いったい自分はどんな仕事に向いているのか分からなくなってくるようです。

「とにかく、上の学校へ進学してからゆっくり考えれば？」と親は言います。その通りなのですが、今少し積極的な働きかけができないかと思えます。世の中にはいろいろな仕事があって、働くということはどういうことなのか、子どもたちに情報や考える時間が必要なのではないのでしょうか。

高校を卒業して職についても離職してしまう若者の割合が非常に高いのが現実です。「こんなはずでなかった」「もっと自分に向いている仕事があるのでは」と、理由は様々でしょうが、そもそも“働く”ということが、しっかりイメージ出来たのか疑問です。

キャリア教育という分野があります。狭い意味では、将来の仕事に対する考え方を培っていくような教育内容になります。しかし、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するために必要な教育であると、幅広く捉えたいと考えます。



仙台市では、“キャリア“ということばを使わないで、「自分づくり教育」としており、宮城県では「志教育」と名前をつけております。いずれも、小学校段階から、自分の夢を膨らませ、やがては様々な仕事を見つめ、働くということを考えていける、生き方教育そのものです。

現在、多くの中学校では、夏休みなどを利用して、地域での職場体験を実施しています。3日から5日の日程で、様々な職業に就いて体験をします。地域の魚屋さんで体験に行った子どもが、最初はろくにお客様への対応などできなかったのに、最終日には、しっかりと購入してくれたお客様に「ありがとうございました」と声を出すことが出来たとのこと。似たような体験が、各地で行われています。

また、震災以降、仙台市が駅前アエルの中に立ち上げた「仙台市子ども体験プラザ」では、市内の5、6年生が、ブースに再現された店舗・事業所での体験を通じて、社会と自分との関わりや経済の仕組み、お金とは何か、仕事とは何かなどを学びます。また中学生は、家族・収入など与えられた条件の中で、様々な商品やサービスの購入・契約などを体験し、情報を適切に活用する力や生活設計能力などを学びます。本校では、5年生が、1月に体験をする予定になっております。

ところで、保護者の皆様は、どのようにして今の職業を選んだのでしょうか。私の場合は教育学部へ進学したので、自然に教師になる道を選びました。ただ父親は国鉄職員だったので、子どもを国鉄に入れたいと思っていたようでした。しかし、弟も金融関係に就職したので、全く親の希望通りにはいかなかったこととなります。そして我が家でも、両親共に教師なので、子どもは同じ道を選んでくれないかと思っておりましたが、自分には向いていないと、普通の会社員になりました。親の望み通りにはいかないものですね。もちろん、大切なのは自分で道を切り拓いていけることだと思います。

## ささやかな楽しみ

我が家には猫の額ほどの広さではありますが畑があります。たまたま今朝の食卓に、今年初のもののキャベツがサラダで登場しました。たった3株だけですが、加美町の地場産品売り場で購入した苗のうちの一つでした。だんだんと葉は大きくなってきますが、これがどうして球のようになるのか、最初育てたときは半信半疑でした。でも11月に入り、寒くなってくると、キャベツはくるっと自分を包み込むように丸くなります。農薬はもちろん使っていませんので、葉には青虫が食べた跡がたくさんあります。さすがに今朝調理をするときに、「まさか青虫入っていないよね」と笑いながら妻と一緒に確かめました。去年の冬は、白菜を植えたのですが、収穫後に葉をむいていたら、冬眠しているかたつむりを見つけました。



もし、八百屋やスーパーに売っているキャベツだったら、虫食いが入ったものは売れないでしょうし、自分も選択しないかもしれません。でも自分で手をかけた（単に植えただけなので、ちょっと大げさですが）ものだと、愛おしいというか、よく育ってくれたという思いでいっぱいです。無農薬だから虫がつくくらいおいしいのです。

<11月はじめの頃のキャベツ>

ところで、野菜が畑に植えられていても、それが何の野菜なのか、大人でも分からない場合があります。引っっこ抜くとタマネギやニンニクと分かりますが、地上部分はとても似ています。今年はヤーコンも1株植えてみたのですが、葉や花を見ると、何の植物かと思ってしまう。たくさん実がなったので、お隣にもさしあげたら、「これ何ですか?」と言われてしまいました。(笑)

冬になって、野菜作りは一休みですが、10月に植えたタマネギが、じっと寒さに耐えていますので、たぶん来年の6月頃には収穫できると思います。変な話ですが、野菜作りをするようになって、一層四季を感じられるようになりました。